

NEWS TOPICS

11階建てワンルームマンションの建設!

今年度は、本協議会が設立後、修景補助制度が制定され、まちなみ修景事業が始まって以来の大きなできごとが起こりました。つまり、本地区の修景事業の重点路線に面して、11階建てワンルームマンションの建設が公表され、住民・関係者に大きな衝撃が走りました。

「重点的に景観形成を図る地域」

堺市では、堺市景観計画において、「市として景観上特に重要な地域に置いて先導的な景観形成・誘導を図る」ため「重点的に景観形成を図る地域」を指定。現在、指定されているのは、「**百舌鳥古墳群周辺地域**」と「**堺環濠都市地域**」の2カ所だけです。

住民から「景観規制」を求める声・市議会でも議論!

「百舌古墳群周辺地域」では、高さ規制等の「景観規制」がありますが、今回のマンション計画を契機として、堺環濠都市北部地区においても、「景観規制」を求める市民・住民の声が高まりました。また、市議会の本会議や委員会でも質疑が行なわれ、堺市からは、最終的に「合意形成を図りながら、住民の皆さまと一緒に規制を検討したい」旨の答弁がありました。以上の経緯は、複数の、テレビ・新聞などのマスコミで報道され、多くの人の関心を呼びました。

堺市と協議会の今後の予定

堺市と協議会では、来年度、「景観規制」のあり方に向けて住民のみなさんとの勉強会を予定しています。そのため、今年の1月と2月には、堺市と協議会関係者の間で計2回の準備会を開催しました。

地区の住民のみなさんに向けての第1回目の勉強会は、来年(2019年)度の5月に開催する第8回総会にあわせて実施する予定です。みなさん、是非、ふるって、ご参加下さい。

発行日：2019.3.29
発行者：堺環濠都市北部地区町なみ再生協議会
編集：協議会 + musubi design
連絡先：〒590-0930 堺市堺区柳之町西1丁1-28
TEL.072-228-0953(志賀)
URL：http://sakaimachinami.jp/

堺 環濠都市 NEWS

[ニュース]

北部

歴史的まちなみを
未来に活かすため

第2回研修見学会で
奈良県橿原市今井町を
訪れました!

vol.20

INFORMATION

▶ 第8回(平成31年度)定期総会を開催します!

5月5日(日) 場所：錦校区地域会館1F(神明町東1丁・山之口筋西側)
時間：13:30~
内容(予定)：平成31年度事業計画(案)等について/「景観規制」に向けた勉強会
後半は、地区の「景観規制」に向けた勉強会も開催します。ふるって、ご参加下さい!

▶ 月いちバザーのお知らせ

4月の月いちバザーはお休みで、5月に下記の3日間、拡大版として開催します。

5月18日(土) 場所：堺町家案内所(北旅籠町大道西・内田家住宅1F)
19日(日) 時間：11:00~17:00(最終日14日は16:00まで)
20日(月)

※予定は変更になることがあります。

▶ 協議会へのお問い合わせはこちら
堺環濠都市北部地区町なみ再生協議会
TEL 072-228-0953 [志賀]
MAIL info@sakaimachinami.jp

▶ 「まちなみ修景補助制度」へのお問い合わせはこちら
堺市 建築都市局 都市計画部 都市景観室
TEL 072-228-7432
FAX 072-228-8468 担当：手嶋、福島、田中

今号の表紙

町家の軒下には、意外にも様々な装飾が見られます。この軒下には、西洋で古代以来建築装飾にしばしば見られるアカンサスの葉模様が、まるで洋館のようなデザインです。軒下を支えるためだけでなく、デザイン性も兼ね備えています。こんな発見も、まちあるきのひとつの楽しみです。



今年度(2018年度)2月には、2016年度の小浜市(福井県)への研修見学会から2年ぶりで、奈良県橿原市の今井町(国の重要伝統的建造物群保存地区)への第2回研修見学会を企画しました。まず、2月3日に今井町町並み保存会会長の若林氏のご講演を拝聴して事前学習し、2月17日に同保存会の受け入れプログラムに沿って研修見学会を実施しました。

町なみ再生連続講座 今年度第1回(総第6回)講座を開催しました!

| 2019.2.3 錦西公民館会議室(堺市立青少年センター2F)にて 午後1時30分~ |

テーマ:「今井町のまちづくり ーまちづくりはひとづくりからー」

講師:今井町町並み保存会 会長 若林 稔 氏
(講演助手:今井町町並み保存会 常任理事 木本 京子 氏)

講座当日、保存会のお二人は和服姿で来られました。特に会長は今井宗久をイメージした茶人のいでたちで、公式な場所にはいつもこの装いで出かけられるとのことでした。会長ご自身が、現在まで取り組まれて来た、今井町のまちづくりについてのご講演内容も、装いと併せて、参加者に強い印象を残されたようです。講演後には、「本日の話は強烈なインパクトがあり、参考になりました。」「今回のお話は非常に元気が出るもの」「今井の街の再生を良い事例として活動できる環境づくりをしていきたい。」などの、参加者の皆さんの声が寄せられました。



今井町での研修見学会を実施しました!

| 2019.2.17 |

今井町は、日本における町並み保存運動の先進地であり、地域に根ざしたまちづくり活動が息づいていて、最近ではカフェなどが開店するなど町家活用も盛んに行われています。

当日は今井町に到着すると、まず、今井まちなみ交流センター・華薨(もと郡の教育博物館)で、若林会長から町の歴史や展示模型の解説を伺った後、保存会の方の先導で2班に分かれてまちあるきをしました。お昼には、国の重要文化財の旧米谷家住宅で、保存会の皆さんが重要文化財のかまどで炊いた炊き込みご飯や料理をいただき、午後のまちあるきの後の自由時間では、参加者各自が思い思いのカフェで休憩、最後に移住者の方のお宅訪問というおまけも付いた充実した一日でした。

研修見学会の参加者は、地元協議会や堺市の職員をはじめとする皆さんでしたが、右記に、参加者の皆さんの感想の一端をご紹介します。

[堺市職員の参加者の感想]

- ・今井町は観光地化されているが、それほど観光客も多くなく(良い意味で)、本当に古い町並みが、いいカタチ(活用)で残されていて、景観を重視した貴重なまちなみだと思った。
- ・かまどを利用した炊事を見ても多くの方が様々な役目に関わり、古い伝統や文化を再生することは、コミュニティの形成とその維持も重要なひとつであると思った。
- ・建物だけではなく、ここに来なければ見られないもの、体験できないものの存在が必要だと感じた。若林会長が「人の動きや携わり方を感じてほしい」と言われた意味がよく分かった。

[協議会の住民参加者の感想]

- ・小浜の時にも感じたことだが、自治体である橿原市の並々ならぬ意気込みが、散策しているだけでも、ひしひしと感じられた。
- ・防火水槽の設置を兼ねて、町なみに合ったトイレをあちこちに作ってあった。それらは、市が買い取って整備したものだということだった。ただ、内部については、女性の視点が必要ではないかと思った。
- ・研修の一環として、重要文化財の米谷家の竈で炊いた炊き込みご飯などをいただいた。たくさんのスタッフが協力しているのに感心した。
- ・町なみは、映画やテレビドラマのロケがよく来るとい言葉通り、まるで映画のセットのように、古い町家が続く町なみで、さすが、重伝建地区と感心した。
- ・时期的なものもあるのだろうが、私たち以外、ほとんど人影を見ず、改めて、町なみ修景の課題を突き付けられた思いだった。

参加者は、若林会長をはじめ保存会の皆さんのおもてなしに感動し、驚いたり、感心したりしながら、改めて、自らの町の問題点を胸に帰途についたように思われます。最後に、このような機会を作っていただいた今井町の皆様に心より感謝申し上げます。



1:今井まちなみ交流センター・華薨 2F 2・3・5:まちあるき風景
4:今井町で唯一の造り酒屋・河合家住宅 6:旧米谷家住宅での昼食風景 7:旧米谷家住宅の重要文化財のかまど